

春の芽吹き、彩を競う花々、萌える新緑、清冽な水、秋の燃える紅葉、冬の雪景色。

この小さな庭には光と風が織り成す季節の移ろいがあります。
日々の生活の営みの中で、ほっと安らげる小さな自然“庭”。
季節のうつろいを感じる小さな自然“庭”のある暮らしを始めませんか。

日本庭園の伝統の技にモダンな感性を取り入れて、
花や草、そしてそこに住む生き物たちに
触れ合う季節を感じる庭を作ります。
小さな庭ですが、楽しく庭遊びしましょう。



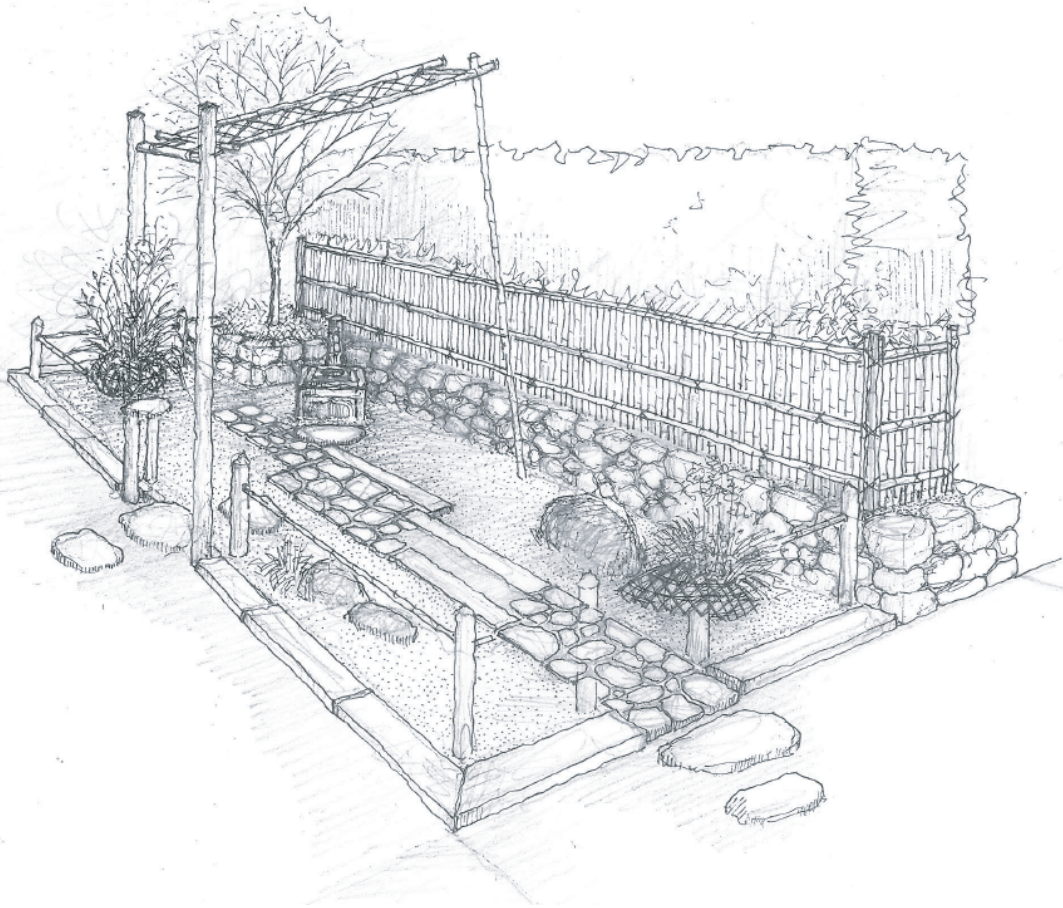
楽しく遊ぶ庭

第29回全国都市緑化フェアTOKYO日比谷公園会場
女性技能者と技能五輪メダリストによる庭づくり実演



石と
竹を使った
巧みな技の競演

実演日 平成二十四年十月六日、七日
場所 日比谷公園にれの木広場



和モダンの庭

小さな

第29回全国都市緑化フェアTOKYO日比谷公園会場
女性技能者と技能五輪メダリストによる庭づくり実演

師の技

日本庭園における
伝統技法を生かした
庭づくり

揚簀戸（あげすど）

茶庭、露地、数寄屋風の庭に設けられる中門または庭門の代用とされる門。出入りには、門に取り付けた突上げ棒を立てて扉を開く。

銀閣寺垣（ぎんかくじがき）

慈照寺（銀閣寺）の参道につくられ、その形態は、建仁寺垣の上部2コマを石積みの上につくった1m前後の竹垣。

野面積み（のづらづみ）

自然石を加工せずに積み上げる方法。

延べ段（のべだん）

大小の平らな自然石を一定の幅で細長く敷き詰めたもの。

実演者

◆女性技能者

造園業界では、現場で働く女性が増えていきます。国家資格である造園技能士の合格者のうち、毎年全体の15%が女性になりました。

体力、気力、細かい気配り、そして女性らしい感性で、庭をつくりあげます。

◆技能五輪メダリスト

技能五輪国際大会、全国大会で入賞した男女10〜20代の若手技能者。

技能五輪とは…

青年技能者が、技能日本一を競う大会。参加年齢23歳以下。造園は1999年から正式種目となり、和と洋の技法を織り交ぜた総合力を求められる課題が設定され、延べ2日間の規定時間内に課題を完成させる。

10月27、28日に開催される第50回技能五輪ながの大会で選ばれた選手は、平成25年7月にドイツ・ライプツィヒで開催される国際大会に出場する。

社団法人 日本造園組合連合会

造園業者の全国団体。1974年、日本庭園の伝統と文化を守り、造園技術および技能の向上を目的に設立。厚生労働省、国土交通省の許可を受ける公益法人で、全国45都道府県に支部があり、組合員数は約4500名。